

### ●主な活動の記録 （4月～6月）

4月8日（土） 定例活動 お花見会

午前中は、今年度の事業予定（林野庁助成）である”みんなの森”遊歩道左側の里山整備のため、皆で現状調査しながら、整備内容について検討。かなり広範囲にて、3年計画で取組み予定。昼は恒例となっている花見。いつもの桜広場のサクラはほぼ見頃となっているものの、先週雨が多かったため湿地状態でシートを拡げての宴席を張ること出来ず、また空模様も怪しく、いつ振り出すかわからない状況故、場所を炭窯横に移し、女性達の手で準備願ったカレーライスを味わいながら暫し歓談。午後は整理整頓と、次週開催のリーダー研修用器具類の準備・積込みをして解散。（本日の参加者 21 名）定例理事会理事会報告。

- ・ 林野庁助成事業、28 年度実績報告の提出、29 年度の事業予定、姫竹処理と、みんなの森沿道里山整備
- ・ 「緑の募金」公募事業として、”ふるさとの森林再生事業”（モミジ谷での間伐を中心）を申請
- ・ FV 連は「緑と水の森林ファンド」リーダー研修、今年度に続き曾爾村で実施予定で申請。
- ・ 「緑の募金」街頭募金活動、リーダー研修と重なったが、人員のやりくりの上、8 名が参加予定。
- ・ 「山の日・川の日」ガイドブック掲載の計画書の検討
- ・ NPO 法改正についての説明一資産公開の方法等定款変更の必要



作業予定地点検



サクラとコブシの競演



カレーづくり



宴

4月15日（土） 緑の募金街頭募金 近鉄奈良駅前

（公財）奈良県緑化推進協会による活動に、当クラブより 5 名、いこま里山クラブより 3 名が参加。天候が今ひとつ良くなって、一般の人たち・家族づれの散策が少なく外国の旅行者が目立ちまひとつ華やかさが無かった。ボーイ・ガールスカウトの子供たちが元気な声で”緑の募金にご協力をお願いします”と頑張っていました。私たち大人・県職員も子ども達につられ大きな声を張り上げていました。せんとくんも負けずに、パフォーマンスも大きく応援し、ミス奈良のお嬢さんたちも笑顔でハッスル、外人観光客はカメラを向けてパチパチシャッター音、楽しい景観でした。半日の活動でしたが緑の募金の意義を伝えることがチョット出来たかなと思いつつ無事解散。



募金活動風景

4月15日～16日 リーダー養成と山村交流 曾爾村塩井

FV連主催による「緑と水の森林ファンド」公募事業として実施。当クラブ、いこま里山クラブ、景観ボランティア明日香より、女性2名を含む18名が参加。15日10時、参加者は塩井地区集落センターに各地から参集（内2名西名阪国道事故による大渋滞に巻き込まれ遅刻）。漆ぬるべ会の指導者5名を交え開会式の後、間伐と竹伐りの二手に分かれて、それぞれの作業地へ。間伐班は、昨年と同様、区有林内ヒノキの間伐を指導者のもと2名づつで実施。今回は、伐倒木をうるし幼木の養生のための杭に使うとのことで、末の比較的細い部分3メートル位を林道に運び出し、皮むきをし、予定の50本を揃えた。後は、途中木回しや捨て切りの説明をはさんで、随時伐倒・玉切り、最後にスギの大径木の伐倒。今回は生憎持参のチルホール部品不足で使えずかなりの苦戦ながら、無事倒すことが出来。竹伐り班も、昨年と同じく、家屋近くまで侵入した竹の伐採を指導を受けながら実施。両班とも4時頃予定の作業を終えて宿舎へ。一風呂浴びた後の講演は、景観ボランティア明日香、三木名誉会長による「村おこしと森林ボランティア」と題し、同団体の長年に亘る明日香村おこしに関わる各種の取り組みを詳しく紹介頂き、質疑・応答を交え小一時間。懇親会では、指導者4名も加わってもらい夕食を取りながら、遅くまで大いに歓談。16日朝一番から、同センターで、漆ぬるべ会松本会長と吉田事務局長より、曾爾村並び会の現状と取り組みについての説明を頂き、参加者よりは特に村の知名度アップにつながる幾つかの提案もあり、有意義な一時。この後、うるし植栽地と、23日新たにオープンした古民家を改造した”うるし工房”（仮称）を会長の説明を受けながら見学。予定を全て終了。今回の開催は時期を得た4月、立ち寄る先々で満開のサクラを満喫。ただ名所の屏風岩は、標高が高いため一週間ばかり後とのこと。



開会式



間伐



皮むき



大木の伐倒



竹伐り



講演会



村の話



うるし工房見学

4月22日（土） 定例活動 矢田山遊びの森

参加者15名。内1名、30代男性の新入り。料理体験館で、前回使った調理器具等の片付けをする女性を残し、全員野鳥の森での草刈り。当初午前中だけの作業予定であったが、刈り進むと共に奥にある満開のサクラの見栄えを良くしたいとのことで、午後も引き続き実施。すっかり見通しがきくようになった。この間R308沿い竹林偵察に行った3名は、先客（イノシシ）があり収穫はわずかと言いながら数本のタケノコを持ち帰り、これを早速茹で上げ、昼食時に味わった。

4月29日（祝） 表彰式と花の苗・種の配布 馬見丘陵公園

昨年度行われた奈良県緑化コンクール（ポスターと標語）の入賞者に対しての表彰式が行われ、それぞれ表彰状を受け取ったあと、お祝いに駆けつけてくれたせんとくんと一緒に記念写真。その後、当クラブ員10名、他県職員とが早くからポットに入れ、ラベルを添付し準備をしておいた花の苗と種の配布。開始前から列を作ってまっていた人々に一種類ずつ持ち帰ってもらった。この日は天気もよく、多くの人々が公園の花を楽しみに来ていたこともあり、かなり順調に配布が進み、昼過ぎに終了。



花をポットへ



入賞者記念写真



入賞作品



配布風景

### 5月13日（土） 定例活動 矢田山遊びの森

午前中強い雨の予報もあつたか、参加者8名。

- ・クラフト材料づくりーリョウブの輪切り
- ・「緑の募金」実績報告書づくり
- ・芝生広場奥のサクラ植栽木の枯れたものの処理

をそれぞれ小人数に分かれて午前中実施。午後は、チェーンソーの整備し、その後定例理事会、

- ・奈良市地球温暖化防止対策地域協議会総会、春日奥山古事の森総会開催参加
- ・学園前幼稚園よりのクラフト指導要請
- ・環境出前講座、森の学校、山と森の月間当のクラフト指導予定打合せ
- ・「永遠の森」づくり報告のとりまとめ状況
- ・今年度の行政財産使用許可2件
- ・改正NPO法で義務づけられる貸借対照表の公告方法
- ・奈良阪イベント10月7日に開催
- ・日月基金並びに日月山の扱い等の報告・検討を行った。

### 5月17日（水） 自主活動 矢田山遊びの森

参加者10名、全員で頂上展望台広場へ。3月に記念植樹以後初めての下草刈りを実施。手鎌で坪刈り、刈払い機では全面刈り。草丈は植栽木に比しまだ低かったのでやりやすかったが、今後は油断するとアツという間に草が大きくなりその時、間違つて木を刈りとりためたための対策として、目印に竹櫛を立てることとした。乾燥防止の一環として刈り取った草をまとめて木の根元に敷き込んだ。午後、近くの竹の除伐地で姫竹・雑草を刈り取った。

### 5月27日（土） 定例活動 矢田山遊びの森

朝から快晴のためか、この日の参加者は久しぶりに多く20名。午前中、全員で「野鳥の森」植栽地での下草刈り。結構傾斜のきつい所が多く、下刈器では危ないところは手鎌班が足を踏ん張りながらの作業。昼食後、情報館で先の記念植樹祭風景を小野カメラマンが撮った写真をテレビ画面で紹介。当初動画での披露を予定していたが、ソフトが合わず起動せずスナップ写真となった。ヘッドセットカメラを使用しているため、撮影アングルが異なり、俯瞰した趣のあるものもあつた。この後、植樹祭を担当した奥村理事



の司会で、現地の状況説明と今後の養生方法に関し話合った。

あと残った時間で、子ども交流館周辺のサツキの剪定を電動バリカンや剪定バサミを使い刈りこんだ。

解散後の臨時理事会で、

- ・保険の更新につき、新たに社会保険協議会のものと合わせ検討すること。
- ・隣接民有林内、ヒノキ一本を誤って伐り倒した顛末についての報告
- ・「緑の募金」実績報告書作成経過。
- ・クラフト指導（山と川の月間）を含めての予定等



— 作業風景 —

### 6月10日（土） 定例活動 矢田山遊びの森

この日の参加者18名、午前中は3手に分かれての活動。大半はR308沿いでの環境整備としての、主として竹伐り作業。助成女性を中心としたお楽しみ部会のメンバーは、焼きそば昼食会のための準備を料理体験館で、あと小人数で頂上展望台脇の遊歩道の草刈りや、椎茸銀行の檜の作り替えのための、劣勢ヒノキの伐倒を実施。昼には大盛りの焼きそばで腹ごしらえ。午後は、3月に椎茸植菌をして仮伏せしておいたホダ木を椎茸銀行に本伏せのため皆で運んで檜に立て掛けた。一部は幼稚園でコッポリづくりに使う竹の小口切りの手伝い。あとの定例理事会は

- ・春日奥山古事の森協議会より、古事の森鹿害予防フェンスの補修作業の依頼があり11月ごろ作業予定
- ・幼稚園より、夏祭りのための竹クラフト（こっぼり・水鉄砲）指導の協力要請への対応
- ・ボランティア保険更新に際し、コスト削減のための方策の検討（きめ細かく二本立）

### 6月24日（土） 定例活動 矢田山遊びの森

参加15名。午前中はR308沿いフェンス際整備のため、雑木の除伐と草刈りを実施。土曜日でもあり結構車の行き来が多く、安全確認のため、笛をもっての見張りを立てて作業を進めた。日頃我々もよく使う道路だけに非常にスッキリして有り難い。午後は料理体験館や炭窯付近での草刈りや、クラフト材料づくりを行った。7月に入ると、夏休み中の環境出前講座や、山と川の月間関連のイベントでのクラフト指導の予定がかなり入っており、これらへの積極的参加の呼び掛けがあった。終了後の臨時理事会では、

- ・林野庁助成事業の認可報告
- ・緑の募金助成事業「永遠の森づくり」並びに緑と水の森林ファンド、FV連リーダー研修の事業実績提出の報告等



— R308沿い整備作業風景 —